

次世代リーダー養成ゼミナール科目一覧

目 的		将来，所属大学でのトップリーダーや高等教育界のリーダーとして大学等の経営を担うために必要な知識，技能，態度を身につけた人材を養成する。
到達目標		(知識) １．高等教育に関する理論・知識を応用することができる ２．経営管理・戦略，財政管理・戦略，危機管理に関する理論・知識を応用することができる ３．リーダーシップに関する理論・知識を応用することができる (技能) ４．情報収集・分析を行うことができる ５．企画策定・提案を行うことができる ６．判断を行うことができる ７．折衝・調整を行うことができる ８．後継者育成を行うことができる (態度) ９．リーダーとしてふさわしい行動をとることができる １０．立場の違う構成員と協力して働くことができる １１．地域や高等教育界のニーズに応えることができる

科目名			１ 年 目	２ 年 目	隔 年	研修の目的 (この受講科目の存在意義を記入)	授業の到達目標 (この授業科目の学習後に到達すべき目標を， ゼミ生を主語にして，行為動詞を使用して簡条書きに記入)
講 義	基 礎 科 目	研究方法論Ⅰ (課題発見と解決)	○			プロジェクトを選択する上で，必要とされる課題発見の方法およびその解決方法についての基本を理解する。	１．課題発見のためのスキルを説明することができる ２．課題解決の手法を理解することができる ３．課題解決型プロジェクトのテーマ策定に活用することができる
		研究方法論Ⅱ (文献検索・調査法)	○			プロジェクトの実践やプロジェクト実践レポートをまとめる際に参考となる文献などの検索方法について理解する。	１．文献検索の方法を説明することができる ２．必要な文献を検索し，入手することができる ３．他の図書館から資料を借り入れる方法を説明することができる
		研究方法論Ⅲ (調査票の作成)	○			アンケート調査とはどのような調査であるのかを理解し，その作成方法を学ぶ。	１．アンケート調査とは何かを自分のことばで説明することができる ２．アンケート調査の作成方法を説明することができる ３．アンケート調査票を作成することができる
		研究方法論Ⅳ (データ分析基礎)		○		プロジェクトや日常業務で活用できるデータ分析の基本的な内容を学ぶ。	１．データの種類の説明することができる ２．データ分析の方法を説明することができる ３．グラフの種類と特徴を説明することができる
		研究方法論Ⅴ (レポートの書き方)		○		レポートの構成の立て方，引用方法などのレポートを書く際の基本的な事項を理解する。	１．レポートの基本とは何かを説明することができる ２．剽窃について説明することができる ３．構成の立て方を説明することができる
	高 等 教 育 分 野	高等教育政策論	○			大学を取り巻く様々な政策を理解し，大学改革において必要とされるマネジメント力を発揮できるようになるための基礎を養う。	１．1990年代以降の大学改革について説明することができる ２．我が国の大学の特質を説明することができる ３．大学を巡る諸環境の変化を説明することができる
		高等教育史			○	日本の高等教育の歴史とポイントを理解し，現在の様々な大学の改革や取組への繋がりを理解する。	１．高等教育機関の現状を説明することができる ２．日本の大学改革の歴史の概要を説明することができる
		高等教育論	○			制度・組織を中心とした高等教育に関わる基本的な内容を取り上げる。	１．高等教育に関する基本的な理論や枠組みを説明することができる ２．大学教育に関する基本的な理論や枠組みを説明することができる ３．所属機関における課題を理論や枠組みに照らし合わせて説明することができる
		教育関係法規			○	我が国の学校教育関係法規（主に憲法，教育基本法，学校教育法，大学設置基準等）の基本的事項について，理解するとともに，高等教育政策の動向について正しく理解し，課題解決のための方策を提案できる。	１．我が国の学校教育関係法規の制度概要，論点等が説明することができる ２．業務に必要な高等教育制度の変遷や法令について説明することができる ３．高等教育政策の動向について説明することができる ４．現在の大学行政上の課題を基に方策を具体的に提案することができる
		学生支援論			○	学生支援の歴史的変遷の概略を学ぶとともに，現代の高等教育において必要とされる学生支援の現状と課題を考える。	１．学生支援の現状について説明することができる ２．学生支援の問題点について指摘することができる ３．所属大学での学生支援の在り方について自分の考えを述べることができる
	経 営 戦 略 分 野	経営管理・戦略論			○	高等教育経営に関する様々な分野を取り上げ，経営管理や組織のあり方，経営戦略などについて専門的に学ぶ。学習にあたっては，理論だけでなく，ケーススタディなどの手法も取り入れ，実践的側面についても理解を深めていく。	１．経営戦略について説明することができる ２．高等教育経営を効果的に実践するためのマネジメント手法を説明することができる ３．高等教育経営に関する様々な分野の情報を収集・分析し，経営戦略の策定ができる
		大学のガバナンスとマネジメント			○	ガバナンスとマネジメントの違いを理解し，戦略遂行のために自らに与えられた課題を解決する能力を養う。	１．ガバナンスとマネジメントについて説明することができる ２．大学のガバナンスとマネジメントについて説明することができる ３．大学改革におけるガバナンスとマネジメントの役割について説明することができる
		高等教育におけるIR		○		高等教育における計画立案，政策形成，意思決定を支援するために，データに基づく持続的な改善・意思決定（ＩＲ）を効果的・効率的に行うための問題解決方法を養う。	１．高等教育質保証について説明することができる ２．Institutional Research（IR）について説明することができる ３．諸外国におけるIRの展開について述べることができる ４．日本におけるIRの展開について述べることができる ５．課題を洗い出し，課題解決に取り組むことができる
		危機管理実践			○	大学職員に求められる権利・義務を理解した上で，事件・事故等の対処方法・予防策の構築方法を学ぶ。	１．大学等における危機管理とは何かについて説明することができる ２．事件・事故等に自ら判断を行い，対処することができる ３．事件・事故等の予防策を構築することができる
	講 義	人 材 育 成 分 野	ＳＤ論		○	リーダーに必要な資質の一つとして，職場（現場）を理解することがある。ＳＤ論を通して，職場（現場）の業務分析について理解する。	１．大学における業務の意義・位置づけについて述べることができる ２．職場における業務について情報を収集し，業務内容を明確化することができる ３．職場における必要な能力の分析をすることができる
			リーダーシップ論Ⅰ	○		自分のリーダーシップ・スタイルを分析し，部下を成長させながら組織が成果を上げるための方策について学ぶ。	１．リーダーシップの定義から，期待されている役割を説明することができる ２．リーダーのメンバーへの影響力について説明することができる ３．リーダーとして持つべき意識／取るべき行動を説明することができる
			リーダーシップ論Ⅱ		○	リーダーとフォロワーが互いに良い影響を与え合い，その相乗効果によってチーム力が高まることを学ぶ。	１．リーダーとフォロワーの両者の立場を理解し，お互いの役割を説明することができる ２．目標を達成できるチーム作りの方法を説明することができる
		人 材 育 成 分 野	大学職員論		○	「事務職員」から「大学職員」への発展の背景を振り返り，そのプロフェSSIONAL性について考える。	１．これからの大学職員に求められる能力を説明することができる ２．業務改革の進め方について説明することができる
			メンター入門	○		メンターとなる職員（上司）が，メンタリングの必要性について理解する。	１．メンタリングについて説明することができる ２．メンターの役割を説明することができる ３．スタッフ・ポートフォリオ作成時のメンターの関わり方を説明することができる
			人材育成ビジョン		○	高等教育機関における職員人材育成ビジョンの構築事例を知るとともに，その作成を支援するための手法を学ぶ。	１．職員人材育成ビジョンについて説明することができる ２．職員人材育成ビジョンの必要性を説明することができる ３．職員人材育成ビジョンの作成を支援することができる
	プ ロ ジ エ ク ト	プロジェクト・マネジメント	○			プロジェクトマネジメントの手法を理解し，プロジェクトを成功に導くツールとして活用することを目指す。	１．プロジェクト，プロジェクトマネジメントの特性について説明することができる ２．プロジェクトを成功に導くためのプロセスと，実践のための手法を説明することができる
		プロジェクト実践Ⅰ (課題設定)	○	○		プロジェクトの企画立案，進捗管理，リスク管理などを含めてプロジェクトの課題設定につなげる。	１．プロジェクトの課題設定について，他者に説明することができる ２．他者のプレゼンテーションに対しフィードバックを行うことができる
		プロジェクト実践Ⅱ (進捗状況発表)	○	○		プロジェクトの進捗状況を発表することにより，振り返りを行うとともに，進行を妨げている課題（各種トラブル）の解決策を見出せるようになる。	１．プロジェクトの計画と現状の差異を説明することができる ２．他者のプレゼンテーションに対しフィードバックを行うことができる ３．他者からのフィードバックを精査し，問題解決の方策を策定することができる
		プロジェクト実践Ⅲ (最終プロジェクト発表)	○	○		プロジェクトの成果と課題の考察結果を説明する。	１．プロジェクトの企画・管理の手法を説明することができる ２．プロジェクトの意義や重要性について，説明することができる ３．プロジェクトの内容についての質疑応答をすることができる
		プロジェクト実践Ⅳ (ゼミ指導)	○	○		プロジェクト実践Ⅰ・Ⅱ・Ⅲの中で行われたフィードバックを省察すると共にプロジェクト遂行を通じて，課題発見能力，課題解決能力，構想力，表現力を養う。	１．自大学の構成員を巻き込んだプロジェクトを遂行することができる ２．プロジェクトを実施し，レポートにまとめることができる
Ｓ Ｄ 実 践 ・ 演 習		インストラクション・スキルⅠ (プレゼンテーションスキル)	○	○		プレゼンテーション，研修講師等に必要な知識・技能・態度について学ぶ。	１．与えられた制約の中で，意図・主旨・要点を明確に伝えることができる ２．他者のプレゼンテーションを観察しフィードバックを行うことができる
		インストラクション・スキルⅡ (プログラム設計／シラバス作成)	○	○		SDプログラムにおける，シラバスの定義，プログラム概要，到達目標の設定，研修内容等について理解する。	１．シラバスの定義を説明することができる ２．到達目標を設定することができる ３．効果的な学習を促すシラバスをデザインすることができる ４．プログラム概要を作成することができる
		SD実践Ⅰ (プログラム構築)	○	○		担当するプログラムにおける，プログラム概要，到達目標の設定，研修内容等について理解する。	１．SPOD-SD講師となることができる ２．受講対象者のニーズを調査することができる ３．プログラムのシラバスについて，同期生と協働して作成することができる
		SD実践Ⅱ (マイクロティーチング／プログラム実践)	○	○		担当するプログラムの事前講義を行い，課題の解決策を見いだせるようになる。	１．プログラムの問題点を指摘することができる ２．プログラムを改善するためのフィードバックができる
		SD実践Ⅲ (プログラム振り返り)	○	○		振り返りを通じ，次期生に対し適切な助言を行う。	１．次期生に対し，適切な助言を行うことができる
		メンタリング実践Ⅰ	○	○		スタッフ・ポートフォリオ作成に資するメンタリングを実践する。	１．スタッフ・ポートフォリオ作成時のメンターの関わり方を説明できる ２．スタッフ・ポートフォリオに記された内容についてメンタリングを行うことができる ３．スタッフ・ポートフォリオ作成の援助をすることができる
		メンタリング実践Ⅱ	○	○		メンタリング実践Ⅰで作成したスタッフ・ポートフォリオのブラッシュアップに向けたメンタリングを実践する。	１．スタッフ・ポートフォリオ作成時のメンターの関わり方を説明できる ２．スタッフ・ポートフォリオに記された内容についてメンタリングを行うことができる ３．スタッフ・ポートフォリオ作成の援助をすることができる